



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得後、米国ハーバード大学大学院で歯学博士号取得。米国歯周病専門医。米国歯周病学会(AAP)認定医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラント学術誌において世界最高峰といわれるJOMI誌及びPRD誌の編集委員を務める。医療法人東陽会和田歯科医院インプラント・歯周病担当

アメリカ発



最新歯科医療レポート

Vol.14 リポーター：和田圭祐

美しい笑顔をつくるという審美的観点と、虫歯や歯周病に強い歯列を作るという予防的観点から、矯正治療は米国においてより一般化されています。

一般的に矯正治療を行うにあたり大きなネックになるのが、2〜3年という長い治療期間であると言われています。仕事上、あるいは人生において大事なイベントの前にぜひ歯並びをよくしたいと期限にこだわった患者様も多くなりつつありますが、そのような場合、通常の矯正治療では対応できない場合も数多くあります。

このようなケースに対して最近には特に短時間で歯並びを治したいという人にペンシルバニア大学では歯周外科を併用した矯正治療を行うケースも増えてきました。この方法は矯正治療を始める前に歯まわりの骨の表面に意図的に溝をつけ、それによって引き起こされる

る生体の自然治癒能を生かして歯を通常より早く移動させるといえるものです。症例報告では通常数年かかると思われる矯正治療がほとんどのケースで3ヶ月から8ヶ月で完了しています。現在私が治療し

歯周・矯正治療

歯周外科を併用したスピード矯正治療

ている症例をご紹介します。

写真1の患者さんは「歯並びが気になる」と来院されました。「セーリングス器具が仕事なので、できる限り矯正器具がつかない期間を短くしたい」というご希望で、前述の歯周外科を用いたスピード矯正治療を選択されました。矯正器具を装着する前に歯の周りの骨に溝をつける治療を行い、それから通常

の矯正治療を行いました。
写真2は、矯正開始後3週間目の歯並びの様子です。まだ矯正の針金がついている状態ですが、上顎の前歯の位置が下がって歯の長さが左右均等になりました。また

上の奥歯も移動して下の奥歯と正しくかみ合うようになり、現在は顎の関節の症状もなくなりました。

治療期間が長いことが理由で矯正治療を敬遠してきた人々にとって、この歯周外科を併用した矯正治療は美しく、強い歯列を作るための一つの方法としてアメリカで広まりつつあります。



写真1 初診時 歯並びが全体的に入り組んでいる



写真2 3週間経過後 前歯、奥歯ともに大きく移動し、適切な歯列弓を形成しつつある。

FRIENDLY DENTAL OFFICE 医療法人 社団 東陽会

和田歯科医院 詳細は当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>

Tel. 0847-52-6480 (ムシバゼロ) 予約制

福山市新市町新市695-2 <バス通り沿い・駐車場完備> 院長 和田 勝 / 和田 圭祐

広島大学歯学部卒・名古屋大学医学部大学院口腔外科学修士課程卒(医学博士) ハーバード大学歯学部大学院歯周病博士課程修了(歯学博士) 現ペンシルベニア大学歯学部インプラント学主任ディレクター